

# 旭小だより

美咲町立 旭小学校  
平成31年 2月 12日  
文責 光嶋 昭善



## じょうぶな頭 まあるい心



3学期当初、今年度4回目のあいさつ週間の取組をしました。(7月号で紹介したものです。)始業式に、生徒指導主事が、会釈の汎用性について話し、3学期は会釈にも挑戦してみることを促しました。

さて、右の写真は児童玄関に入って直ぐに置かれた記録

黒板の一部です。登校時にできたら○を記入するのです。私は、こういうかきかたが続くことは、よろしくないと感じていたので。そこで、子どもたちと問答しながら、次のようなことを話しました。

今朝のあいさつ黒板はAのような状態だ。「やったー。あいさつしたぞ！」という嬉しい気持ちが伝わってくる。それは大切なことだ。でも、それだけではいけないと思う。B、Cのように書き表したらどうだろう。何が違うか。

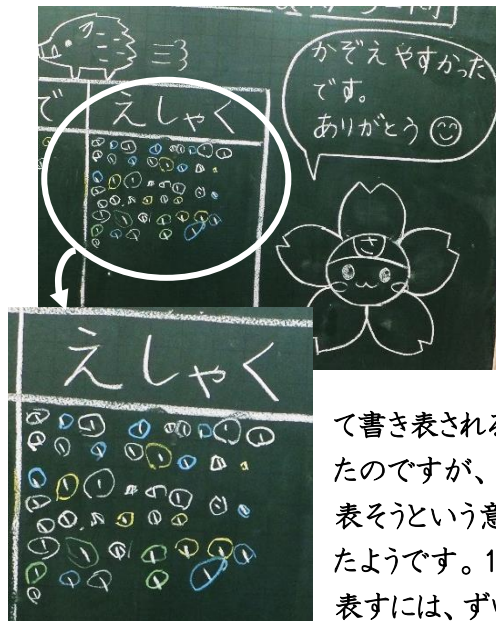
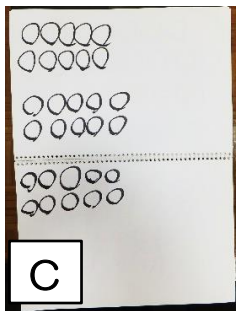
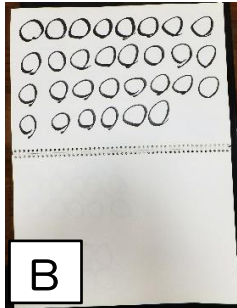
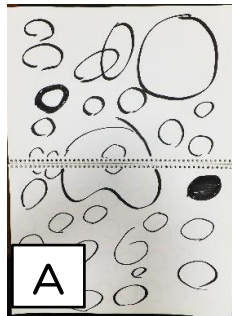
まず、算数の力があるかどうかの問題だ。Bは、資料を数えたり、表に表したりするときに勉強したことを使った書き表し方だ。Cは10の固まりにすると数はわかりやすいという勉強を使った書き表し方だ。いずれも3年までに習ったことだ。それを使うことができるかという問題だ。

次に、トイレのスリッパに当てはめて考えてみよう。Aは、ばらばらの状態だ。Bは、きれいにそろっている状態、つまり整頓されている状態だ。Cは、大ききの順にそろって並んでいる状態、つまり、ある「きまり」の

もと整理整頓されている状態のことだ。トイレのスリッパをそろえるのは、ただ見た目が美しいからだけではなく、次の人がはきやすくなるからだ。自分のことだけではなく、他人(ひと)のために、少し手間をかけることができるかどうかの問題だ。ここでは、○を数える人のことを考えたかどうかだ。これが「まあるい心」の1つの姿なのだ。

算数の力を暮らしの中で使うこと、トイレのスリッパをそろえる意味がわかって、そのことを他の場面にも当てはめて考えること、これが「じょうぶな頭」なのだ。

勉強は良い点を取るためだけにしているのではない。本当は、自分や他人(つまりは、みんな)の暮らしを豊かにし、幸せに生きるために勉強しているのだ。それができるのが、「じょうぶな頭・まあるい心」であり、「かっこいい体」なんだよ。



この話をした翌々日の黒板がこれです。

この後も、10の固まりとして書き表されることはなかったのですが、整頓して書き表そうという意識は生まれたようです。10の固まりで表すには、ずいぶんと気配り

しないといけない難しいことです。そういうこともできる子どもたちになってくれるものと期待しています。



始業式の日の学級活動で、4年生は会釈のしかたを練習していました。会釈(15°)よりも敬礼に(30°)近いですが、美しいですね。

# 素直な子

児童会企画委員会の実践である意見ボックス（目安箱）に次のような声が届いていたそうです。



グラウンドの遊具をなぜこわすんですか。こわしたんなら新しいのを置いてください。それに、こわすのだったら、その理由くらい私たちに教えてください。

専門業者による点検で、グラウンドの木製総合遊具（木製のアスレチック遊具）と中庭のジャングルジムは腐食等があり、危険であるとされ、使用を禁止していました。（現在、木製遊具は管理の難しさから公共施設ではほとんど姿を消しています。）ご承知のよう



うに、このグラウンドは「町民グラウンド」であり、町（旭支所）が管理しているものです。学校は、その半

分をお借りし、使わせていただいています。したがって、総合遊具も町の管理となっていました。点検結果を支所にお伝えし、支所が撤去してくださいました。一方、中庭のジャングルジムは学校管理であり、補正予算を上げ、新調設置しています。



この訴えを見て、子どもたちに撤去について事前に伝えていなかったと気づいた次第です。ところで、この訴えを皆さんはどうとらえられますか。

これは、国際条約である「子どもの権利条約」（1994年：日本批准）第12条「意見表明権」にいう、「子どもは自分に関わることについて、意見を表す権利をもち、おとなは、子どもの発達段階に応じ、その意見を十分に考慮しなくてはならない」ということにかかわります。子どもたちにとって遊具は自分たちの暮らしにかかわることです。子どもの使う物だから、事前に子どもに事情を説明しておくべきでした。

この文章はやや感情的にも受け取れます。しかし、教員に面と向かっては言えない表現でしょう。文字にしたから、表せたのでしょ。この文章の内容と、そこに込められた思いを汲み取って、子どもたちに答えたいと思っています。（訴えが実現するかどうかは別としても。）

「旭の子は自分の考えをはっきりと言えない。」と耳

にします。その一方で「素直な子であってほしい。」という声もあります。「素直な子」には二通りあると考えます。おとな・親の言うことに対し、口答えすることなく、言うことをきいて行動する子です。「素直に従う子」です。一方、自分の思いや考えを、おとなの目を気にすることなく、はっきりと言ったり、行動したりする子もいます。これは「素直に自分を出す子」です。

どちらも大切ですが、私は後者の姿が、より大切だと思っています。もちろん「何を言ってもいい。」「どんな言い方をしてもいい。」というものではありません。わがままではいけないし、相手を傷つけてはいけません。言うことには責任があるということもふまえてはいけません。相手が納得する言い方もあるでしょう。それを身に付けるために、おとなが教諭することがいるでしょうし、学校で学ぶ必要があるのです。それは、「言う」こと、そして「受け止め応える」ことを通して身に付けるしかないでしょう。

旭の子に求める「素直な」はどのような姿でしょうか。「どんなおとなになってほしいのか」＝「どういう人であってほしいのか」、そこを明らかにして「素直な子」にしていかなければいけないと考えます。

## 今後の予定

日	曜	主な行事
12	火	クラブ(3年見学) 学校評議員会15:00 のびサタ実行委員会19:30
14	木	入学説明会 体験入学 物品販売
15	金	学級PTA 部会
17	日	美咲チャレンジロードレース 9:30 町役場
18	月	読み聞かせ(中学年)
19	火	読み聞かせ(中1) 防災教室・砂防ダム見学
21	木	参観日 学級懇談 研修文化、厚生事業、生活指導部会
22	金	読み聞かせ(高学年)
25	月	弁当の日 交通指導 ボランティアさんへの感謝の会 連絡会
26	火	委員会(引継)
28	金	6年生を送る会
3/1	金	5年コサージュづくり
4	月	児童朝礼
6	水	卒業式体育館練習開始
8	金	PTA 役員新旧引継会19:00

13日・20日・27日・3月6日(水) アフタースクール